

## 滋賀県の外来医療についてのアンケート結果

県では、外来医療に関する情報が見える状態にして(可視化)、その情報を新たに医療機関を開業する者へ情報提供するとともに、外来医療を提供する診療所と病院の役割分担や医療機器の有効利用などを進めるため、滋賀県保健医療計画の一部として滋賀県外来医療計画を策定しています。

このたび、滋賀県外来医療計画の推進に役立てるため、アンケートを実施しました。

★調査時期:令和6年10月

★対象者:県政モニター299人

★回答数:242人(回答率80.9%)

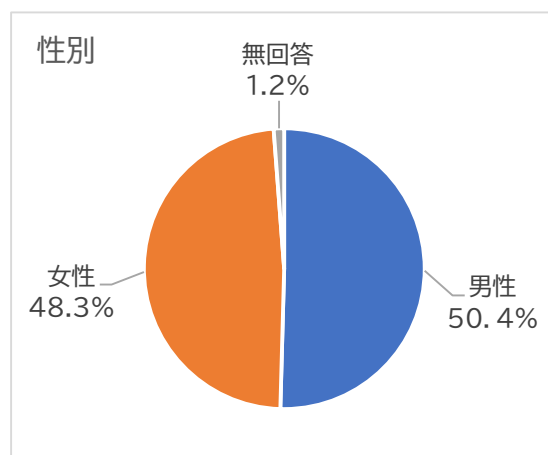
★担当課:健康医療福祉部 医療政策課

(※四捨五入により割合の合計が100%にならない場合があります。)

### 【属性】

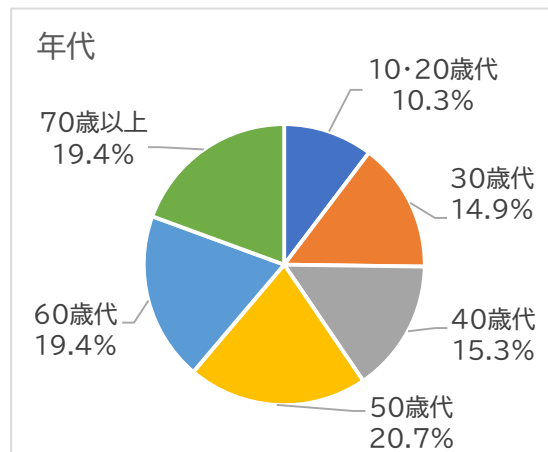
#### ◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	122	50.4
女性	117	48.3
無回答	3	1.2
合計	242	100.0



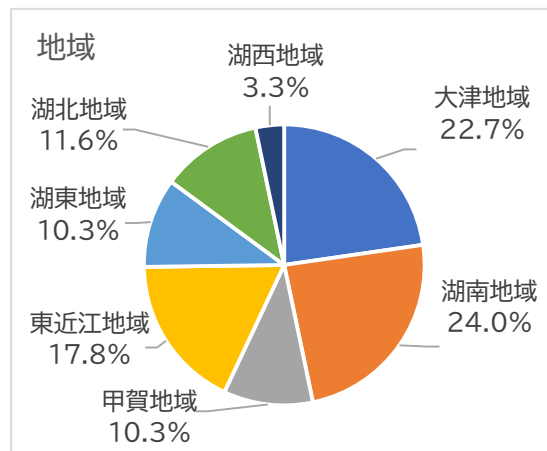
#### ◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	25	10.3
30歳代	36	14.9
40歳代	37	15.3
50歳代	50	20.7
60歳代	47	19.4
70歳以上	47	19.4
合計	242	100.0



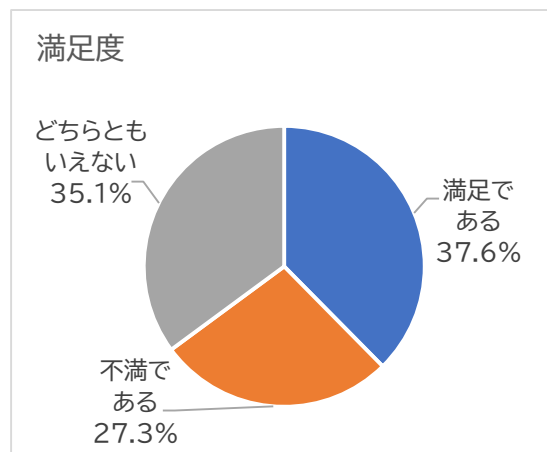
◆地域

項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	55	22.7
湖南地域	58	24.0
甲賀地域	25	10.3
東近江地域	43	17.8
湖東地域	25	10.3
湖北地域	28	11.6
湖西地域	8	3.3
合計	242	100.0



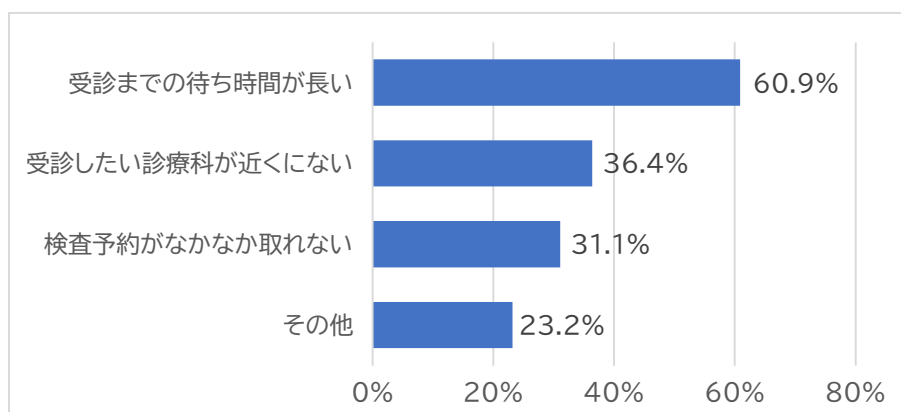
問1 滋賀県の外来医療(病院や診療所において、入院せずに通院して受ける医療のこと)の状況について、どのように感じていますか。次の中から、当てはまるものを選択してください。(n=242)

項目	人数(人)	割合(%)
満足である	91	37.6
不満である	66	27.3
どちらともいえない	85	35.1
合計	242	100.0



問2 問1で「不満である」または「どちらともいえない」を選択された方におたずねします。そのように感じている理由について、次の中から、当てはまるものを選択してください。(回答チェックはいくつでも。n=151)

項目	人数(人)	割合(%)
受診までの待ち時間が長い	92	60.9
受診したい診療科が近くにない	55	36.4
検査予約がなかなか取れない	47	31.1
その他	35	23.2



#### その他の内容(抜粋)

- かかりつけが休診の日に急遽子供をみてもらいたくても、かかったことがない病院だと受診を断られた。どこの病院も人でいっぱいだった。
- 無駄な投薬が多い、治療の多くが対症療法になっており、根本的な解決にならないこともある。特に生活習慣病など。
- 医療機関のお世話になる機会がないためわからない。
- 他地域の状況はわからないが、10年前に引っ越してきた時は開業医が少なく不便であった。近年開業医が増え特に不満・不便はない。
- 専門家が日々経過観察をして欲しい。交通機関や食事についても、問題がある。外来医療と同じ位のケアを開発研究してから実行して欲しい。
- いくつかの診療科で受診しているが、同じような説明をせねばならず、かといって大きな病院は受診しづらくなっている。
- 専門機関として明らかに総合医療センターにかかるものでも一旦個人医院外来を受けねばならず使い勝手が悪い。
- 症状をみた時に、自身で診療科を判断しなくても総合診療科があれば、かかる医療機関数も少なく済むため、全体的な医療費軽減ができるのではないかと。現在のかかりつけ医から総合病院紹介ではなく、治療方針が明確になることで専門医に行くといった現在の逆ルートがあっても良いのではないかと。必然的に総合診療が出来る医師を現在よりも相当数増加させることが必要となる。
- 紹介率や逆紹介率、紹介先の医療機関名を載せたり、「当院は一次医療機関ですよ」とかの情報提供、情報開示を図ってもらえたらと思う。
- 受診したい病院は、かかりつけ医院からの紹介状が無いと医療費が高くなる。また、そのような病院には、外来として行きにくい。
- 毎月の診察料が高額である。

問3 その他、外来医療に関するご意見・ご要望がありましたら、お聞かせください。

(抜粋)

- 少し離れた所でも、必要があれば外来医療機関へ伺うことが出来るが、もう少し年齢を重ねて、移動に不便を感じるようになれば、便利とは思えないようになると思う。
- かかりつけ休診の日でも、その日にどうしても診てもらいたいときがたまにある(年に1回もない程度)。たまたま診てもらえる病院があったので良かったが、全部断られていたら、大きい病院の夜間外来に行くところだった。他の病院でも診てもらえるという安心感がほしい。
- 緊急時やしんどい時は、最短で受診したい。
- 夜間の救急医療体制が整っているのはありがたい。緊急時に助けていただけるため。
- 病院受診が予約制になっていて、急いで受診したいときに受けることができないことがある。
- どこの病院が自分にあっているのか分からないので、それぞれの診療科の特徴を比較できるような情報があればよいと思う。
- 元々あった診療科でも、閉院などによってなくなってしまった。こうしたことで生じる地域間医療格差をどう解消していくのか。県として、県内各市町と連携した医療体制構築政策の早急な実施が重要だと思う。
- 医療の地域格差、医者の人材不足を感じる。誰もが望んだ時に、希望する医療を受けられるようにしたい。患者と医者の意識改革が必要。かかりつけ医を持つこと、患者の声に耳を傾ける余裕を医者が持てるように働き方の改革が急務。医者も看護師も医療関係者もやりがいの搾取で限界にきているのではないか。
- 現在の外来医療については、総じて満足している。多くの医療機関がインターネットで受診予約が可能で、予約時間が近づくとメールで知らせてくれたりととても便利。
- 急な対応をしてもらえて助かっている。
- やむを得ず、オンライン受診(関東の病院とカメラをつないで受診)を利用したことがあるが安全なものであるか、地元の医療に悪い影響があるものではないかと心配。
- 大津市は外来医療は充実していると感じているが、過疎地で外来医療が希薄な地域では大変苦勞されていることは、想像に難くないと思う。医療の過疎地が生じないよう対策すべきだと思う。
- 産婦人科が近くになく、違う市に通っている。近場であれば良いと思う。
- 後期高齢者となり、健康は自己管理が重要と考え、定期検査等を外来受診をしており、地域医療の重要性を感じている。
- 診察までの時間、診察が終わってから会計までの時間、処方箋をもらってから薬をもらうまでの時間、これら全ての待ち時間がいつも長く感じる。もう少し時間短縮できないものかと強く思う。